

2019年12月期 第1四半期決算 補足資料

**GMO** AD PARTNERS

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

参考資料

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

参考資料

広告繁忙期の需要取り込み売上高は前年同水準で着地。

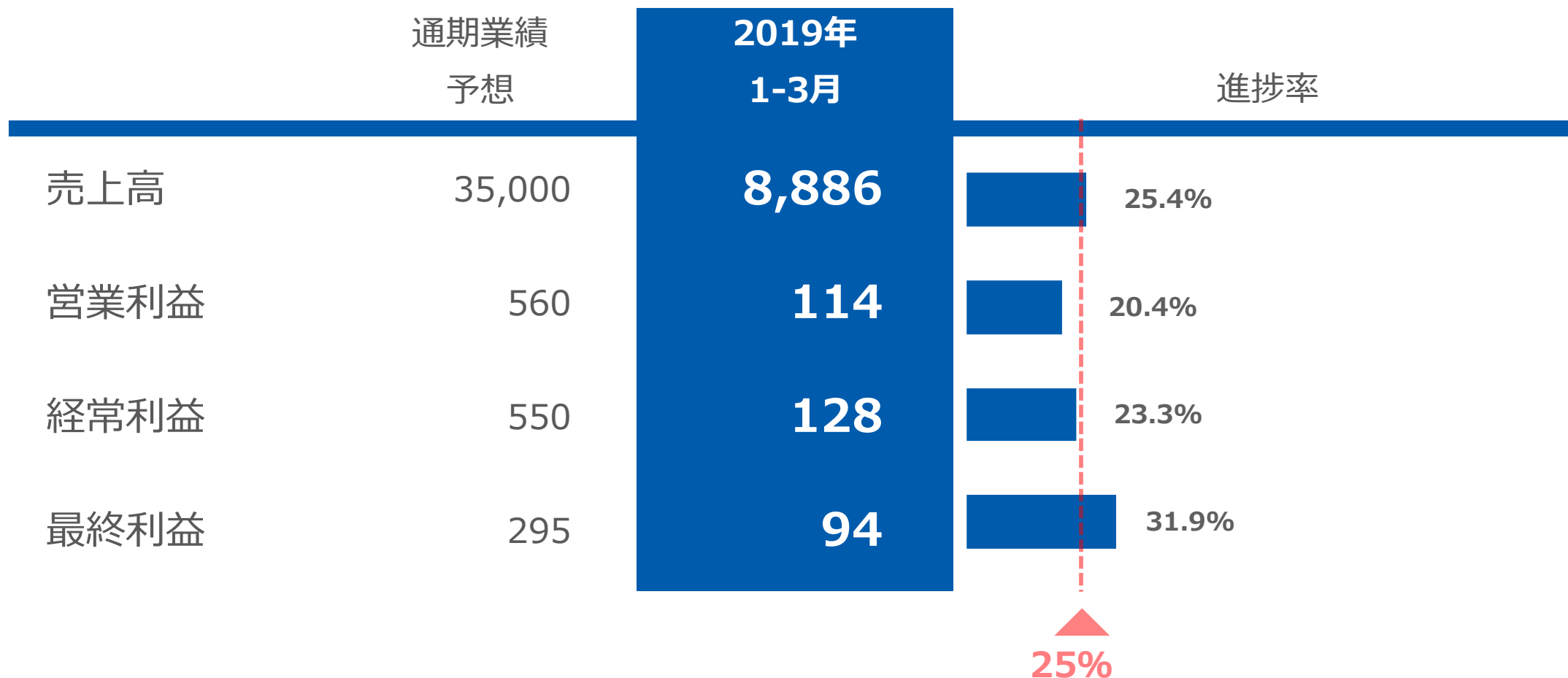
アドテク事業の広告掲載基準厳格化の影響で利益減

(百万円)

	2018年 1-3月	2019年 1-3月	前年比
売上高	9,021	<b>8,886</b>	98.5%
営業利益	141	<b>114</b>	80.8%
経常利益	137	<b>128</b>	93.2%
最終利益	120	<b>94</b>	79.0%

業績予想に対し、ほぼ計画通りに推移

(百万円)



1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

参考資料

販管費率が改善

(百万円)

	2018年 1-3月	2019年 1-3月	前年比
売上高	9,021	8,886	98.5%
売上原価	7,227	7,348	101.7%
売上総利益	1,794	1,538	85.7%
（売上総利益率）	19.9%	17.3%	▲ 2.6Pt
販売費及び一般管理費	1,652	1,423	86.2%
（販管費率）	18.3%	16.0%	▲ 2.3Pt
営業利益	141	114	80.8%
（営業利益率）	1.6%	1.3%	▲ 0.3Pt
経常利益	137	128	93.2%
当期純利益	120	94	79.0%

純資産比率は45.2%。健全な状態を維持

	2018年 12月末	2019年 3月末	(百万円) 前期末比
流動資産	8,532	8,641	101.3%
現金及び現金同等物	4,241	3,745	88.3%
固定資産	2,561	2,700	105.4%
資産合計	11,094	11,342	102.2%
流動負債	5,575	5,783	103.7%
固定負債	415	434	104.6%
負債合計	5,990	6,217	103.8%
純資産	5,103	5,124	100.4%
(純資産比率)	46.0%	45.2%	▲ 0.8Pt



1

結論と要約

2

決算概要

3

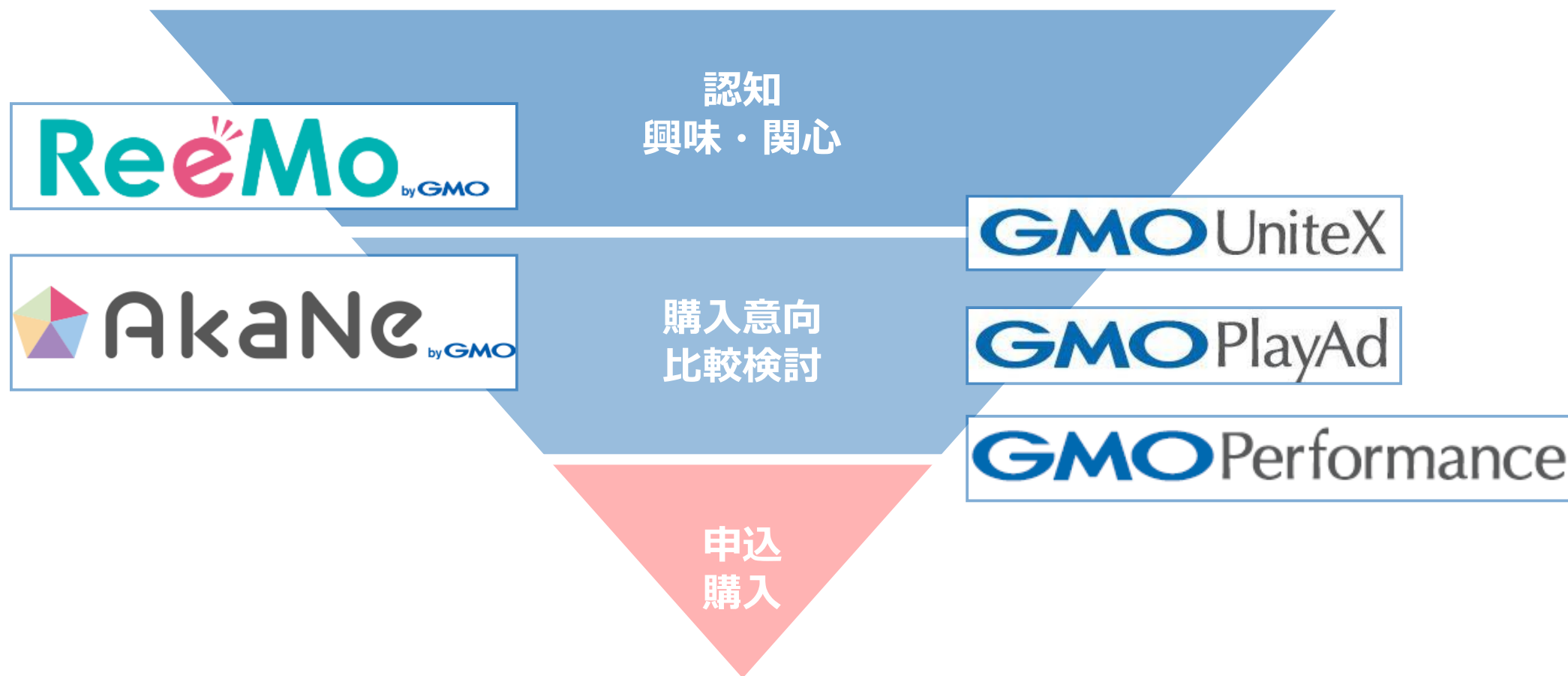
事業概況

4

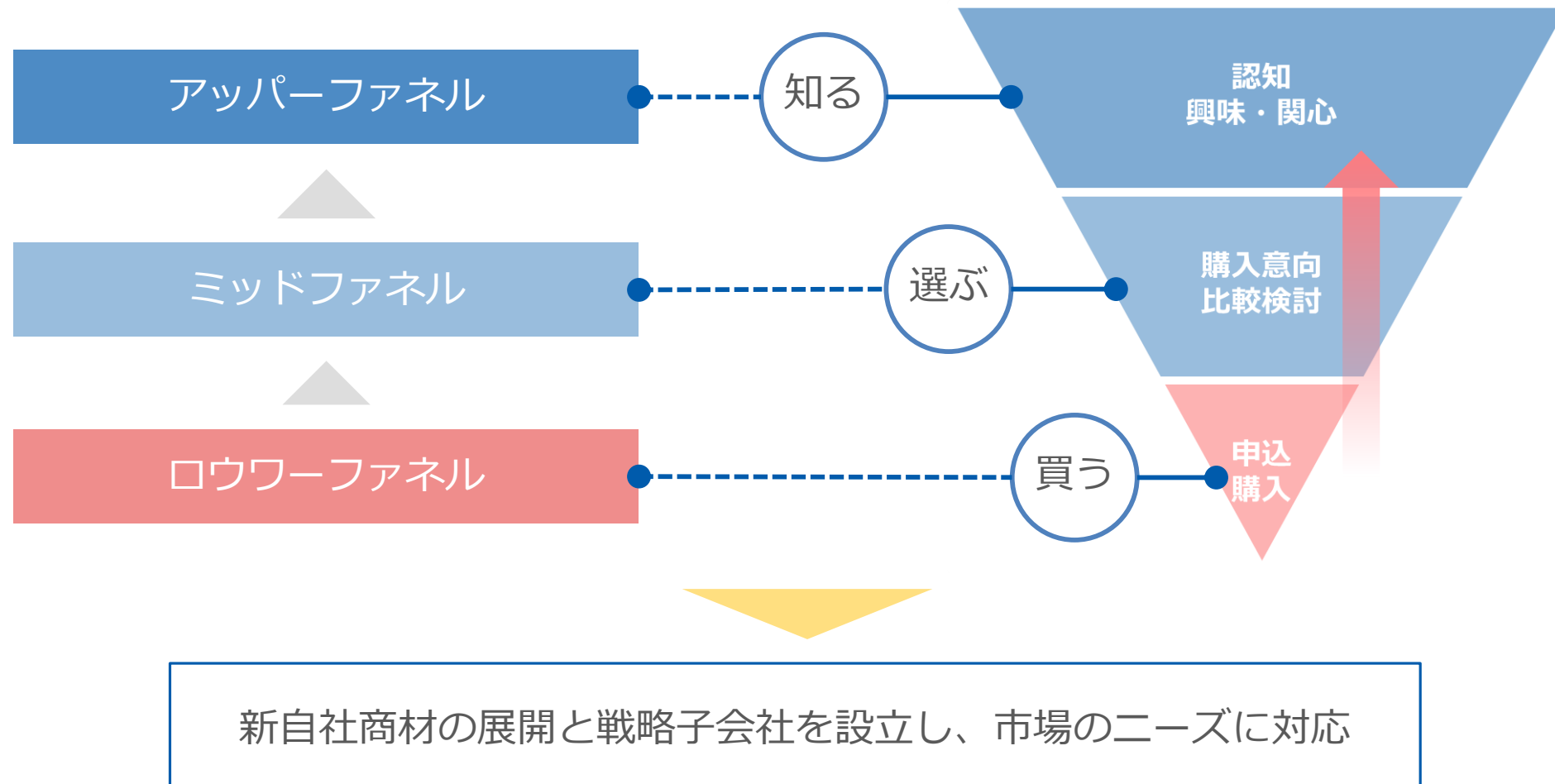
参考資料

2018年にエージェンシー領域で各ファネルに専門特化した戦略子会社を設立。

自社アドテク商材を進化させ、高品質かつ高収益なサービスセット構築を目指す



インターネット広告の役割が、ロウワーファネル中心から認知促進のアップーファネルまで拡大し、  
広告予算のデジタルシフトが進む

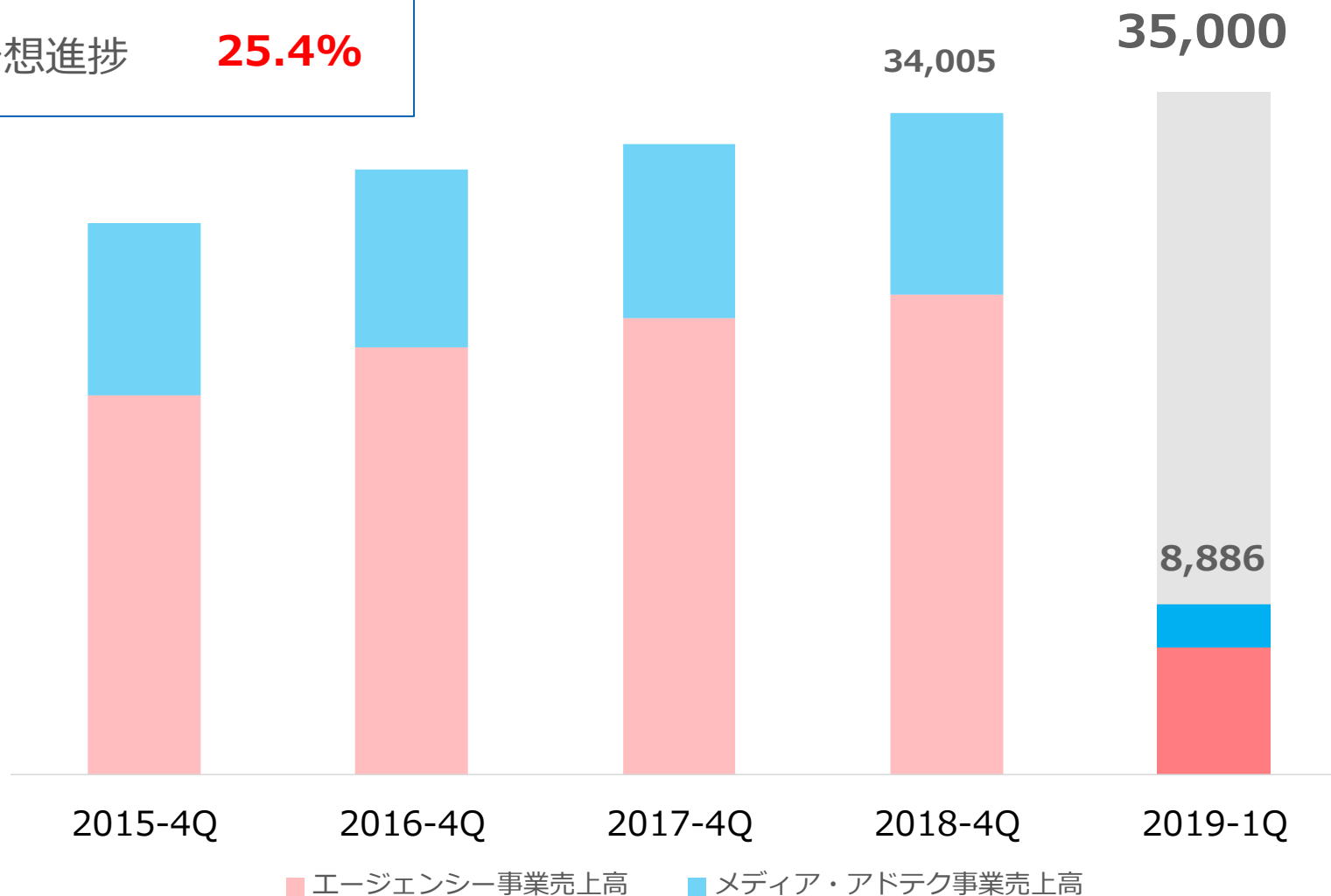


通期業績予測に対してほぼ計画通りに進捗

前年同期比 **98.5%**  
業績予想進捗 **25.4%**

売上推移  
(2019年は通期開示予測)

(百万円)

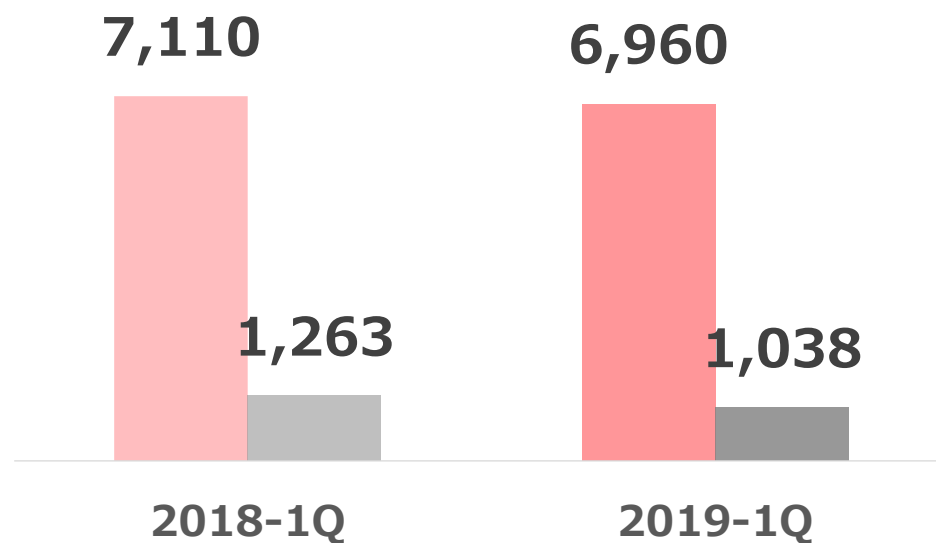


広告繁忙期の需要取り込みは順調に推移。しかしSMB向け旧自社商材の販売終了により一時的に収益減少。

今後は自社商材サービス強化に注力し、収益最大化を目指す

前年同期比売上高	<b>97.9%</b>
前年同期比売上総利益	<b>82.2%</b>

(百万円)



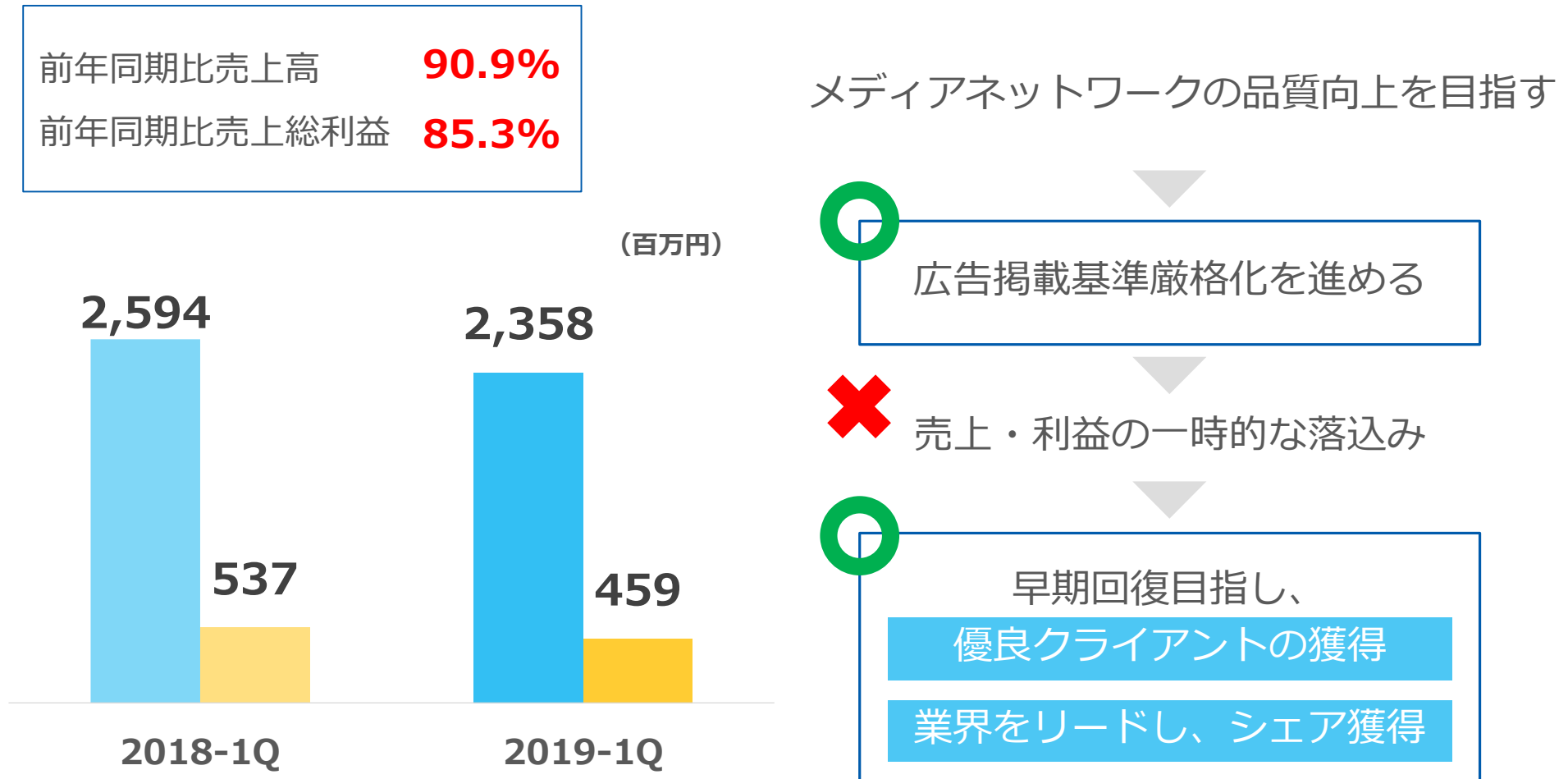
○ 大手クライアントの開拓進む

▼  
自社商材のシェアを拡大

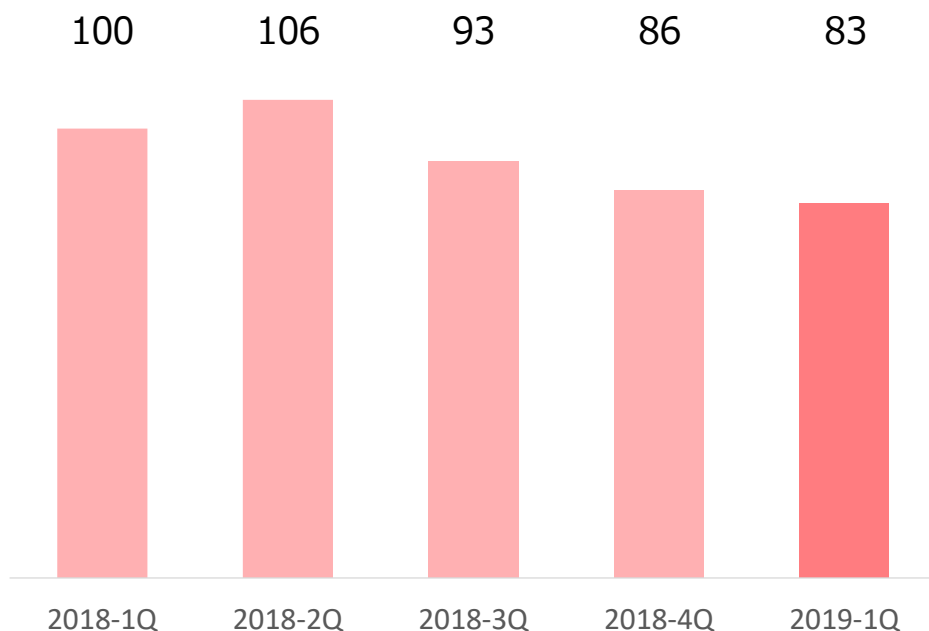
✖ SMB向け旧自社商材の販売終了

▼  
新自社商材・サービスに注力

前年第3四半期から行っている広告掲載基準厳格化の影響により、一時的に売上・利益が落ち込む



広告掲載基準の厳格化により広告流通量が減少。早期回復目指し、商品力強化へ



AkaNe・ReeMoの売上推移

(2018年第1四半期の売上を100とした場合)

前年同期比売上高

**83.5%**

広告掲載基準の厳格化実施

- ・ 誤認を招く表現の広告への監視強化
- ・ 生活者に不快な印象を与える広告の基準設定 等



結果的にネットワークに流通する広告総量が減少  
売上高の減少に繋がった



早期回復に向けて、配信技術の強化による付加価値増加や  
優良クライアントの獲得によって取引高増加を進める

エージェンシー事業とメディア・アドテク事業の連携をさらに強化

メディア・アドテク事業

市場ニーズを反映した  
高品質な広告メニュー



エージェンシー事業

フルファネルの総合提案力で  
大手クライアントとの取引拡大



自社商材の開発・サービス強化に取り組む



## 本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2019年5月9日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

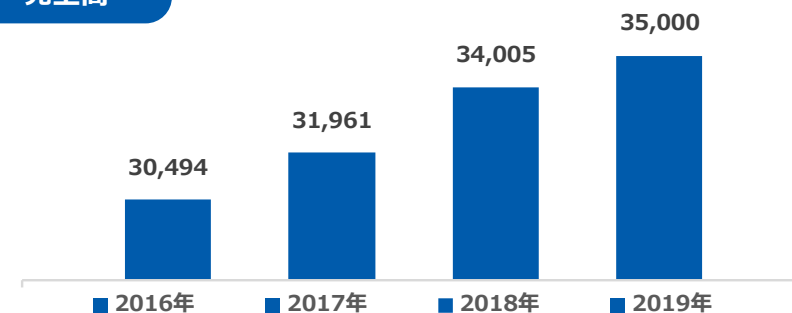
参考資料

	2016年 12月末	2017年 12月末	2018年 12月末	2019年 予想
売上高	30,494	31,961	34,005	35,000
経常利益	275	558	561	550
当期純利益	▲ 21	163	235	295
純資産額	4,833	4,973	5,103	-
総資産額	10,668	10,130	11,106	-
自己資本比率(%)	42.2%	46.9%	43.8%	-
ROE (%)	▲ 0.5%	3.5%	4.9%	-
EPS (円)	▲ 1.29	9.90	14.35	-
PER (倍)	-	48.59	24.60	-
期末従業員数	611	572	576	-

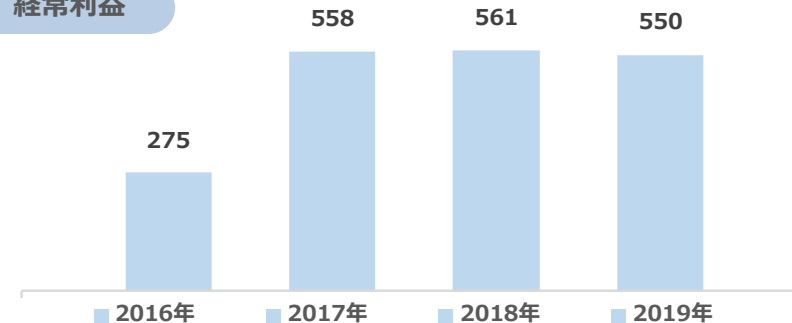
(注) 1 期末従業員数は、各期末時点の正社員のみ数

2 ROE・EPS・PERは2018年12月末の終値を基準として計算

売上高



経常利益



当期純利益

